

実務経験のある教員等による授業科目

シラバス

マンガ・イラスト学科

キャラクターイラストコース

授業科目			授業時数
デッサン			180(12単位)
学年	学科	コース	
1	マンガイラスト学科	キャラクターイラスト	
担当講師(プロフィール)			
山本まゆみ・樋口晃史 (両名ともに美術系大学を卒業後、作品展、個展等を行い現在も作家として活動)			
前 期			
到達目標			
明暗や立体のとらえ方を理解する			
評価方法			
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他			
授業計画			
1	基礎デッサン	円筒形(前半 石膏 後半 植木鉢) 鉛筆の削り方 クロッキー	
2	基礎デッサン	立方体(前半 白立方体 後半 立方体・ワイン瓶2)	
3	基礎デッサン・色彩構成	前半 球体(石膏球) 後半 バスケットボール	
4	デッサン	ブロック・軟式テニスボール	
5	デッサン	オイル缶・紙風船 レタリング	
6	石膏デッサン①	石膏デッサン 1回目 ・ミロのビーナスorメデチorブルータス ・アグリッパorラポルトor獅子冠女神	
7	石膏デッサン①	石膏デッサン 1回目 ・ミロのビーナスorメデチorブルータス ・アグリッパorラポルトor獅子冠女神	
8	石膏デッサン②	石膏デッサン①で描いていない像 顔クロッキー導入(コンテ、ダーマトグラフ)	
9	石膏デッサン②	石膏デッサン①で描いていない像 顔クロッキー導入(コンテ、ダーマトグラフ)	
10	デッサン	手二態 構図、空間、疎と密などの説明 注！指5本の存在がわかるポーズを描く	
11	デッサン	自画像 胸から上、少し斜めから描く	
12	色彩構成	前半16面体 後半あまい・からいの表現	
13	着色描写	前半ハートランド瓶 後半赤リンゴ	
14	デッサン(人物) ☆デッサン強化 DAY	着衣人物デッサン(座りポーズ) 2人交代でポーズ (デッサン強化DAYのため4時間授業)	
15	デッサン(人物)	午前→他クラス学生ボランティアモデル 午後→顔スケッチ(交代でモデルになる)コンテ、ダーマトグラフ、透明水彩等使用	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
表現力の土台となるデッサン力を基礎から身につける。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
様々なモチーフの描き方を理解する	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
1	デッサン ハートランド瓶、リボン、レンガ モチーフの配置、構図について
2	デッサン・着色 前半 ビール瓶(デッサン) 後半 ビール瓶(着色)
3	石膏デッサン③ ・カッパのビーナスorアポロor ギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝
4	石膏デッサン③ クロッキー強化週間 ・カッパのビーナスorアポロor ギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝 4.5週目はクロッキー強化週間のため4時間授業
5	石膏デッサン③ クロッキー強化週間 ・カッパのビーナスorアポロor ギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝 4.5週目はクロッキー強化週間のため4時間授業
6	果実or野菜2個 ワイン瓶 果物、野菜は各自持参する。モチーフの配置、構図について
7	着衣人物 午前→男性座りポーズ(鉛筆デッサン) 午後→女性色々ポーズ(スケッチ)(コンテ、ダーマトグラフ、透明水彩等使用)
8	ヌードクロッキー 5分～40分ポーズ
9	ヌードデッサン 女性立ちポーズ 5分X4ポーズ クロッキー 20分X14固定ポーズ 鉛筆デッサン
10	想定描写「球と階段」 石膏球(直径1メートル)3個以上と任意の階段を想像して描く。(各自が用意した階段の画像を参考にしても良い)
11	想定描写「球と階段」 同様
12	デッサン 花(百合の花)(デッサン強化DAYのため4時間授業)
13	着色描写 ユッカの木 透明水彩で植物を描く
14	デッサン 特大自画像①
15	デッサン 特大自画像②

授業科目		授業時数
デッサン		120(8単位)
学年	学科	コース
2	マンガ・イラスト	キャラクターイラスト
担当講師(プロフィール)		
山本まゆみ・樋口晃史 (両名ともに美術系大学を卒業後、作品展、個展等を行い現在も作家として活動)		
前 期		
到達目標		
就職やデビューに必要な画力を身につける		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 着衣人物スケッチ	交代で全員ポーズ(5～10分) 後半;石膏小	
2 石膏デッサン(力量にあわせて像を指示)	1回目	
3 石膏デッサン①	2回目	
4 石膏デッサン②	3回目	
5 ヌードデッサン	女性\座りポーズ	
6 細密描写	コアラ瓶細密描写デッサン	
7 1組 机上モチーフデッサン① 2組 牛頭骨	各自の力量にあわせて(鏡・タオル・ピン・紙風船など) キャラデ2ー2は牛頭骨	
8 1組 机上モチーフデッサン② 2組 牛頭骨②	2回目	
9 1組 机上モチーフデッサン③ 2組 牛頭骨 ③	3回目	
10 予備日	ポートフォリオ用にしっかり描きこむ	
11 人物デッサン	2人組、交代でモデル	
12 静物デッサン	ジュースカン350ml 2～3態	
13 ヌード デッサン	女性モデル(ヌードや水着、小物などでアレンジ)	
14 着衣人物デッサン	男性座りポーズ	
15 レスラーモデルスケッチ	レスラーモデル(男性)クロッキー&スケッチ	

授業の方法		
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習		
授業概要		
前期→ ポートフォリオ用の作品を制作するため 描き込みや完成度を重視する。「できるまで描く！」 後期→ ポートフォリオ作品としてはもちろん、常にレベルの高い作品を描くことができる安定したデッサン力を目指す。		
使用教材:		
後 期		
到達目標		
複雑なモチーフを描ける力をつける		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1 前半 人物スケッチ 後半 スケッチ大会 作品チェック	交代で5～10分モデルになる	
2 エキサイ展用作品制作①	石膏デッサン 牛頭骨 組モチーフ など 各自で選ぶ	
3 エキサイ展用作品制作②	石膏デッサン 牛頭骨 組モチーフ など 各自で選ぶ	
4 エキサイ展用作品制作③	石膏デッサン 牛頭骨 組モチーフ など 各自で選ぶ	
5 エキサイ展用作品制作④	石膏デッサン 牛頭骨 組モチーフ など 各自で選ぶ	
6 ヌード(デッサン・スケッチ)	女性応用ポーズ	
7 エキサイ展用作品制作④	石膏デッサン 牛頭骨 組モチーフ など 各自で選ぶ	
8 エキサイ展用作品制作⑤	石膏デッサン 牛頭骨 組モチーフ など 各自で選ぶ	
9 エキサイ展用作品制作⑥	石膏デッサン 牛頭骨 組モチーフ など 各自で選ぶ	
10 想定描写『廃墟』①	廃墟をテーマに白黒で表現 ペンまたは鉛筆 動物や人など心臓を持つ生物は描かない 植物などは描いても良い 画像を参考にしても良い (卒業制作1が完成していない場合は続きを描く)	
11 想定描写『廃墟』②	同様	
12 着彩 自画像	画用紙八つ切り ・頭部は画用紙縦2/3の大きさ。角度自由 ・手を必ず描く ・表情を工夫する(必ず凄い顔!) ・他のアイテム(帽子、花…)を加えてよい ・顔は透明水彩で描くが、他は自由 (ボスカラ、コラージュ、ペン…)	
13 特大自画像①	同様	
14 特大自画像②	同様	
15 特大自画像③	同様	